

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2014-503528(P2014-503528A)

【公表日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-008

【出願番号】特願2013-543881(P2013-543881)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/16	(2006.01)
A 6 1 K	31/506	(2006.01)
A 6 1 K	31/4196	(2006.01)
A 6 1 K	31/519	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
A 6 1 K	31/55	(2006.01)
A 6 1 K	31/5025	(2006.01)
A 6 1 K	31/502	(2006.01)
A 6 1 K	31/497	(2006.01)
A 6 1 K	31/425	(2006.01)
A 6 1 K	31/53	(2006.01)
A 6 1 K	31/443	(2006.01)
A 6 1 K	31/517	(2006.01)
A 6 1 K	31/397	(2006.01)
A 6 1 K	31/47	(2006.01)
A 6 1 K	31/4985	(2006.01)
A 6 1 K	31/4409	(2006.01)
A 6 1 K	31/4709	(2006.01)
A 6 1 K	31/437	(2006.01)
A 6 1 K	31/427	(2006.01)
A 6 1 K	31/4188	(2006.01)
A 6 1 K	31/4192	(2006.01)
A 6 1 K	31/416	(2006.01)
A 6 1 K	31/428	(2006.01)
A 6 1 K	31/433	(2006.01)
A 6 1 K	31/429	(2006.01)
A 6 1 K	31/472	(2006.01)
A 6 1 K	31/422	(2006.01)
A 6 1 K	31/4725	(2006.01)
A 6 1 K	31/541	(2006.01)
A 6 1 K	31/4184	(2006.01)
A 6 1 K	31/4427	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
C 0 7 D	403/04	(2006.01)
C 0 7 D	403/12	(2006.01)
C 0 7 D	401/04	(2006.01)
C 0 7 D	401/14	(2006.01)

C 0 7 D 403/14 (2006.01)
C 0 7 D 403/06 (2006.01)
C 0 7 D 413/14 (2006.01)
C 0 7 D 407/06 (2006.01)
C 0 7 D 407/14 (2006.01)
C 0 7 D 413/12 (2006.01)
C 0 7 D 275/02 (2006.01)
C 0 7 D 271/10 (2006.01)
C 0 7 D 239/38 (2006.01)
C 0 7 D 205/08 (2006.01)
C 0 7 D 407/04 (2006.01)
C 0 7 D 215/36 (2006.01)
C 0 7 D 213/75 (2006.01)
C 0 7 D 417/14 (2006.01)
C 0 7 D 231/56 (2006.01)
C 0 7 D 213/70 (2006.01)
C 0 7 D 235/30 (2006.01)
C 0 7 D 249/08 (2006.01)
C 0 7 D 207/34 (2006.01)
C 0 7 D 239/94 (2006.01)
C 0 7 D 261/18 (2006.01)
C 0 7 D 209/42 (2006.01)
C 0 7 D 487/04 (2006.01)
C 0 7 D 471/04 (2006.01)
C 0 7 D 491/048 (2006.01)
C 0 7 D 495/04 (2006.01)
C 0 7 D 513/04 (2006.01)
C 0 7 D 498/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/16
A 6 1 K 31/506
A 6 1 K 31/4196
A 6 1 K 31/519
A 6 1 K 31/4439
A 6 1 K 31/55
A 6 1 K 31/5025
A 6 1 K 31/502
A 6 1 K 31/497
A 6 1 K 31/425
A 6 1 K 31/53
A 6 1 K 31/443
A 6 1 K 31/517
A 6 1 K 31/397
A 6 1 K 31/47
A 6 1 K 31/4985
A 6 1 K 31/4409
A 6 1 K 31/4709
A 6 1 K 31/437
A 6 1 K 31/427
A 6 1 K 31/4188

A 6 1 K	31/4192	
A 6 1 K	31/416	
A 6 1 K	31/428	
A 6 1 K	31/433	
A 6 1 K	31/429	
A 6 1 K	31/472	
A 6 1 K	31/422	
A 6 1 K	31/4725	
A 6 1 K	31/541	
A 6 1 K	31/4184	
A 6 1 K	31/4427	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	25/00	
C 0 7 D	403/04	C S P
C 0 7 D	403/12	
C 0 7 D	401/04	
C 0 7 D	401/14	
C 0 7 D	403/14	
C 0 7 D	403/06	
C 0 7 D	413/14	
C 0 7 D	407/06	
C 0 7 D	407/14	
C 0 7 D	413/12	
C 0 7 D	275/02	
C 0 7 D	271/10	
C 0 7 D	239/38	
C 0 7 D	205/08	N
C 0 7 D	407/04	
C 0 7 D	215/36	
C 0 7 D	213/75	
C 0 7 D	417/14	
C 0 7 D	231/56	A
C 0 7 D	213/70	
C 0 7 D	235/30	B
C 0 7 D	249/08	
C 0 7 D	249/08	5 2 8
C 0 7 D	249/08	5 2 7
C 0 7 D	207/34	
C 0 7 D	239/94	
C 0 7 D	261/18	
C 0 7 D	209/42	
C 0 7 D	487/04	1 4 3
C 0 7 D	487/04	1 5 2
C 0 7 D	487/04	1 4 1
C 0 7 D	471/04	1 0 3 E
C 0 7 D	491/048	
C 0 7 D	495/04	1 0 5

C 0 7 D	487/04	1 4 5
C 0 7 D	487/04	1 4 2
C 0 7 D	487/04	1 4 0
C 0 7 D	487/04	1 4 4
C 0 7 D	471/04	1 0 5
C 0 7 D	513/04	3 2 1
C 0 7 D	513/04	3 2 5
C 0 7 D	471/04	1 1 7 N
C 0 7 D	498/04	1 0 5
C 0 7 D	471/04	1 0 4 A
C 0 7 D	487/04	1 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月10日(2014.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

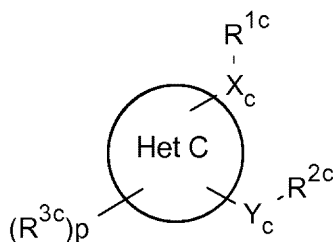
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タウオパチーなどの神経変性疾患の治療におけるカゼインキナーゼデルタ(CK1)阻害剤として使用するための、式(1C)の化合物又はその医薬として許容し得る塩若しくは溶媒和物:

【化 1】



(1C)

(式中、

「Het C」は、ピリジニル、ピリミジニル、又はキナゾリニルを表し;X_c及びY_cは、独立に、結合、又はNHを表し;

R^{1c}及びR^{2c}は、独立に、フェニル、ベンゾジオキシニル、ピリジニル、ピラゾール-4-イル、チオフェニル、又はベンゾオキサゾリルを表し、式中、R^{1c}及びR^{2c}は、1個以上の(例えば、1個の)R^{4c}基により置換されていてよく;

R^{4c}は、ヒドロキシル、メトキシ、又は-CONH₂から選択され;

pは、0~2の整数を表し;

R^{3c}は、ハロゲン、ハロC₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルキル、ヒドロキシル、C₁₋₆アルコキシ、-S-C₁₋₆アルキル、-CH₂-S-C₁₋₆アルキル、-S-C₂₋₆アルキニル、アミノ、シアノ、NO₂、=O、=S、-SO₂-C₁₋₆アルキル、-CONH₂、-CO-C₁₋₆アルキル、-COO-C₁₋₆アルキル、-NH-C₁₋₆アルキル、-NH-CO-C₁₋₆アルキル、-NH-CO-CH=CH-CH₂-N(Me)₂、C₁₋₆アルキル、-CO-NH-C₁₋₆アルキル、-CO-NH-CH(Me)-COOH、-S-CH₂-CO-N(Et)₂、-NH-(CH₂)₂-OH、-NH-(CH₂)₃-OH、-NH-CH(Et)-CH₂-OH、-CO-NH-(CH₂)₃-OH、-CH(CH₂OH)₂、又は-S-CH₂-CO-NH-CO-NH-C₁₋₆アルキル、アリール、C₃₋₈シクロアルキル、単環式若しくは二環式ヘテロシクリル、又は単環式若しくは二環式ヘテロアリール環系を表し、式中、R^{3c}の前記アリール、ヘテロシクリル

ル、又はヘテロアリール基は、1個以上の(例えば、1、2、又は3個の) $R^{4^{\circ}}$ 基により任意に置換されていてよく、式中、 $R^{3^{\circ}}$ の前記 C_{1-6} アルキル基は、1個以上のヒドロキシル基により任意に置換されていてよく；

但し、該化合物が、化合物番号867以外であることを条件とする)。

【請求項 2】

Het C が、キナゾリニルを表す、請求項 1 記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 3】

X_c と Y_c の一方が結合を表し、他方がNHを表す、請求項 1 又は 2 記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 4】

$R^{1^{\circ}}$ 及び $R^{2^{\circ}}$ が、独立に、フェニル、ピリジニル、ピラゾール-4-イル、又はチオフェニルを表し、式中、 $R^{1^{\circ}}$ 及び $R^{2^{\circ}}$ が、ヒドロキシル、メトキシ、又は-CONH₂から選択される、1個以上の(例えば、1個の) $R^{4^{\circ}}$ 基により置換されていてよい、請求項 1 ~ 3 のいずれか1項記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 5】

$R^{1^{\circ}}$ 及び $R^{2^{\circ}}$ が、独立に、非置換のフェニル、又は非置換のピリジニル若しくはピラゾール-4-イルを表す、請求項 4 記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 6】

pが整数0を表す、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 7】

$R^{3^{\circ}}$ が、=O、シアノ、又はピリジニルを表す、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 8】

pが1を表し、かつ、 $R^{3^{\circ}}$ がピリジニルを表す、請求項 7 記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 9】

pが2を表し、かつ、 $R^{3^{\circ}}$ が=O又はシアノを表す、請求項 7 記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 10】

前記式(1C)の化合物が、化合物：

2-フェニル-N-(ピリジン-4-イル)キナゾリン-4-アミン(化合物700)；

N-(2,3-ジヒドロ-1,4-ベンゾジオキシン-6-イル)-2-フェニルキナゾリン-4-アミン(化合物868)；

4-[(2-(チオフェン-3-イル)キナゾリン-4-イル)アミノ]ベンズアミド(化合物870)；

2-フェニル-N-(1H-ピラゾール-4-イル)キナゾリン-4-アミン(化合物894)；

2-[2-メチル-4-(ピリジン-4-イル)ピリミジン-5-イル]-1,3-ベンゾオキサゾール(化合物949)；

2-[2-(ピリジン-2-イル)-4-(ピリジン-4-イル)ピリミジン-5-イル]-1,3-ベンゾオキサゾール(化合物950)；

5-(1,3-ベンゾオキサゾール-2-イル)-2-オキソ-6-(ピリジン-4-イル)-1,2-ジヒドロピリジン-3-カルボニトリル(化合物951)；

4-[(2-フェニルキナゾリン-4-イル)アミノ]フェノール(化合物957)；

N-(4-メトキシフェニル)-2-(チオフェン-2-イル)キナゾリン-4-アミン(化合物973)；

N-(4-メトキシフェニル)-2-(ピリジン-2-イル)キナゾリン-4-アミン(化合物977)；

6-フェニル-2-(ピリジン-2-イル)-N-(ピリジン-4-イル)ピリミジン-4-アミン(化合物986)；及び

4-[(2-フェニルキナゾリン-4-イル)アミノ]ベンズアミド(化合物993)；

のいずれか又はその医薬として許容し得る塩若しくは溶媒和物から選択される、請求項 1 記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項 11】

前記式(1C)の化合物が、2-フェニル-N-(ピリジン-4-イル)キナゾリン-4-アミン(化合物700)、又はその医薬として許容し得る塩若しくは溶媒和物から選択される、請求項10記載の使用のための式(1C)の化合物。

【請求項12】

前記タウオパチーが、アルツハイマー病、第17番染色体に連鎖しパーキンソニズムを伴う前頭側頭型認知症(FTDP-17)、進行性核上性麻痺(PSP)、ピック病、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症(MSA)、鉄蓄積を伴う神経基底変性、1型(ハレルフォルデン・スパッツ)、嗜銀顆粒性認知症、ダウン症候群、石灰化を伴うびまん性神経原線維変化病、ボクサー認知症、ゲルストマン・シュトロイスラー・シャインカー病、筋強直性ジストロフィー、ニーマンピック病C型、進行性皮質下グリオーシス、プリオンタンパク質脳アミロイドアングリオパチー、神経原線維変化型認知症、脳炎後パーキンソニズム、亜急性硬化性全脳炎、クロイツフェルト・ヤコブ病、筋萎縮性側索硬化症/パーキンソン認知症複合、神経原線維変化/認知症を伴う非グアム型運動ニューロン疾患、及びパーキンソン病から選択される、請求項1～11のいずれか1項記載の化合物。

【請求項13】

前記タウオパチーがアルツハイマー病を含む、請求項12記載の化合物。